

**HOT NEWS OF JAPANESE NUTRITION/HEALTH INDUSTRY****AUGUST 16-31, 2005**

最近、消費者とのコミュニケーションスペースを提供するマルチレベルマーケティング企業が増えている。今年4月には、タヒチアンノインターナショナルが新宿のカフェをリニューアルし、福岡および名古屋にも同様のカフェをオープンした。タヒチアンノでは、カフェを今期の重点テーマと位置づけ、カフェを通して一般消費者へのPR及びディストリビューターへの支援を強化する。ハーバライフ・オブ・ジャパンは、5月に、試飲のできるショールームを東京に開設した。ニューウェイズジャパンは、8月に東京のショールームを大手町の24階建てビルの最上階に移転した。札幌では、ショールーム開設後、売上が安定してきたという。同社では、ショールームをマーケティング戦略の核として位置づけ、百万人都市に順次ショールームを開設していく予定だ。また、ニュースキンジャパンは、9月初めに名古屋に、商品を手にとって購入することのできるショッピング方式の店舗をオープンする。

このようにコミュニケーション戦略の一環として、大手マルチレベルマーケティング企業は、店舗またはショールームを強化し、消費者への露出、ふれあいの場を増やし、更なる成長を図っている。

**NEW PRODUCTS****協和発酵、植物由来発酵法のグルコサミンを業務用に新発売**

協和発酵は、従来のエビやカニの甲殻類由来ではなく、植物を原料に微生物を使って発酵生産された『発酵グルコサミンK』を9月2日より食品添加物として業務用に新発売する。『発酵グルコサミンK』は、植物を原料に使い、発酵生産された微生物キチンからグルコサミンを抽出する製法で作られる。従来、国内市場に流通していたグルコサミンは、エビやカニの甲殻を原料として作られたもので、特定原材料の表示が必要だ。その点、『発酵グルコサミンK』は植物が原料であるため、アレルギー表示の必要がなく、さらに安定供給が見込まれる。本製品は、米国メーカーにより発酵生産された中間原料を協和発酵の自社工場で最終精製して販売する。性状は、特有の甘味を有する無臭・白色の結晶性粉末で、打錠品や顆粒品および飲料などの栄養補助食品用途として最適だ。(8月10日 協和発酵プレスリリース)

**ファンケル、カロリーコントロールに役立つサプリメント「カロリミット」を発売**

株式会社ファンケルは、インゲン豆エキス新配合でさらにパワーアップした、食事のカロリーコントロールに役立つサプリメント『カロリミット』を9月21日より全国のスーパーやコンビニエンスストア、ファンケルの通信販売および全国の直営店舗にてリニューアル新発売する。インゲン豆エキス・ギムネマ・桑の葉などの各種配合成分が、糖・脂肪の吸収をブロックして、つらい食事制限のストレスを解消し、毎日の食事のカロリーコントロールをサポートする。販売目標は10億円/初年度。(8月17日 ファンケルプレスリリース)



### カルピス、L - カルニチンを配合した健康ブレンド茶「『ファインサポート』カルニチン茶」などを発売

カルピス株式会社は、今話題の機能性成分“L - カルニチン”を350ml当たり500mg含んだ健康ブレンド茶「『ファインサポート』カルニチン茶」と更年期世代の女性に人気の“イソフラボン”を350ml当たり500mg含んだ「『ファインサポート』イソフラボン茶」を9月12日から全国で発売する。カルピスは、“QOLをサポートするための健康機能性飲料として、「ファインサポート」ブランドを展開している。「ファインサポート」は、ヒトでの有効性試験において、健康機能が認められた成分を活用した飲むサプリメントシリーズ。その第一弾として、6月に加齢とともに減少するN - アセチルグルコサミンを350ml当たり500mg含んだ「グルコサミン緑茶」を発売した。(8月18日 カルピスプレスリリース)



### 森永乳業、オメガ3脂肪酸を摂取できる低脂肪タイプの乳飲料「森永Light」を発売

森永乳業では、現代人に不足しがちなカルシウム、健康維持のために大切なオメガ3脂肪酸を手軽に摂取できる低脂肪タイプの乳飲料「森永Light(ライト)」を9月20日より新発売する。



商品特長:

- (1) ミルクカルシウムが普通牛乳の1.5倍
  - (2) 普通牛乳に比べて脂肪分が65%、カロリーは30%カット
  - (3) 健康維持のために大切な、話題のオメガ3脂肪酸(DHA、EPA、 $\alpha$ -リノレン酸)を配合
- (8月19日 森永乳業プレスリリース)

### ハーバー研究所、皮膚の構成成分をバランス良く配合したサプリメント「ビリーフ ぶる肌美人」を発売

株式会社ハーバー研究所は、8月25日より、皮膚の構成成分(フィッシュコラーゲン・ヒアルロン酸・コンドロイチン硫酸・エラスチン・セラミド・ビタミンC、B2、B6)を1スティックに集約し、バランス良く配合した美肌サプリメント「ビリーフ ぶる肌美人」を通信販売、全国のハーバーショップおよびインターネットで新発売する。(8月19日 ハーバー研究所プレスリリース)



### カネボウフーズ、体から甘い香り成分が発散する新機能性菓子「フワリンカ」を発売



カネボウフーズ株式会社は、体から甘い香り成分が発散する"香る技術"を応用した新機能性菓子『フワリンカ ガム』『フワリンカ ソフトキャンディ』を8月29日より全国の駅売店、コンビニエンスストアで発売する。今回発売の『フワリンカ ガム』は、美肌成分であるビタミンC、ヒアルロン酸を配合した粒タイプのシュガーレスガム。同社では、見た目にもファッショナブルな『フワリンカ ガム』『フワリンカ ソフトキャンディ』を、美意識、健康意識の高い20代～30代女性をターゲットに発売、忙しい女性のエチケット&ビューティを応援する。

(8月25日 カネボウフーズプレスリリース)

## DHC、初の医薬部外品ドリンク 2 品を発売

DHC は、医薬部外品の滋養強壮ドリンク 2 品を新開発、8 月 15 日から通販を開始した。医薬部外品は、同社では初めて。男女を対象にアイテムを投入して、新たな需要の取り込みを狙う。男性向けの「エネパーク」は 5 種類の生薬に、タウリンやアルギニンなど 12 成分を配合、女性向けの「ピアップ」は 3 種類の生薬にビタミン B 群、鉄分などを加えている。(8 月 25 日 日本流通産業新聞)



## TECHNOLOGY UPDATES

### ファンケル、発芽玄米おかゆ・発芽玄米もちは食後の血糖値上昇が低いなどの研究成果を発表

株式会社ファンケルは、発芽玄米は、白米に比べて食後の血糖上昇が低く、Glycemic Index(GI)が白米に比べて低いこと、さらに白米に発芽玄米を混ぜて炊飯するだけでもGIが低くなることを報告してきた(第1~3回日本GI研究会)。また、2型糖尿病患者の方に6週間発芽玄米を摂取して頂いた結果、空腹時血糖値、HbA1Cが改善することも報告している(国際コメ年シンポジウム)。この度、日本大学生物資源科学部 農芸化学科 栄養生理化学研究室の有賀豊彦教授のグループとの共同研究によって、食後血糖値の上昇を抑える主要な有効成分が発芽玄米の食物繊維であること、発芽玄米の調理方法(ごはん、おかゆ、もち)、稲の種類(うるち米、もち米)がかわっても白米に比べて食後の血糖上昇が低いことが明らかになり、7月17日の第4回日本GI研究会にて発表した。(8月17日 ファンケルプレスリリース)

## COMPANY NEWS

### ニュースキンジャパン、名古屋に路面店オープン

ニュースキンジャパンは、ショッピング方式を採用した路面店となる名古屋支店を9月2日に名古屋にオープンする。名古屋市を中心とする中部地区では、同社ビジネスが順調に伸びており、名古屋支店はその活動をサポートするためのもので、東京、大阪、福岡に続く4番目の拠点となる。製品を直接手にとって購入できるのが特徴で、店内は化粧品や栄養補助食品を豊富にそろえた「ショッピングエリア」、多目的に利用できる「リラクゼーションエリア」、ビジネスの相談口である「サービスカウンター」などで構成される。(8月18日 訪販ニュース)

### 日本ネイチャーズ・サンシャイン・プロダクツ、2005年度中間期は売上が70%増

日本ネイチャーズ・サンシャイン・プロダクツは、2005年度中間期の業績について、売上高が前年同期比約70%増の伸びを示したことを明らかにした。また、第2四半期(4~6月)は、売上高が同75%増となった。中間期は2月に発売したマンゴスチン配合の健康飲料「ザンブローザ」や、5月に投入したスキンケアの新商品「ネイトリア トリプルエフェクトクリーム」が堅調な売上を確保したほか、オフィスの移転や人

員削減によってコスト減となり、売上、利益ともに前年同期と比べて増加したという。(8月18日 訪販ニュース)

### **ロート製菓、機能性食品分野を第3の柱に、産学連携コンソーシアムへ参加**

ロート製菓は、大阪商工会議所の「機能性食品開発研究会」を母体に発足した産学連携コンソーシアムに参加する。新素材の開発を加速することにより機能性食品分野を強化し、第3の柱に育成する方針を明らかにした。機能性食品の開発テーマとしてアンチエイジングと予防領域を掲げ、ロートの強みを活かした新しい機能性食品市場の創造を目指す。ロート製菓の総売上高820億円のうち、サプリメントなどの食品分野の売上は97億円となっている。現在、-リポ酸配合のサプリメント「美活工房」などを展開中だが、産学連携コンソーシアムやロートグループのパナソニック、森下仁丹、MGファーマ、中国で準備中の合併企業などとのコラボレーションにより、100億円の上乗せを目指す。(8月24日 健康食品新聞)

### **アイケイ、低カロリー食品でB to C通販参入**

生協ルートを通じた通販代行を手掛けるアイケイは、7月下旬から低カロリー食品に特化したB to C通販を開始、売上は好調に推移している模様だ。同社は、通販代行業を中心に展開してきたが、ここ数年、売上は伸びているが、利益率の低迷が懸案となっていた。B to C通販への展開は、利益率引き上げのための施策のひとつだ。過去3年間にわたり、同社の取り扱う商品の中で、「ラーコン」と呼ばれる蒟蒻を使ったラーメンがヒット商品となっていた。ラーコンのヒットから「低カロリー」がダイエッターに対するキーワードとなると判断し、約1年前から低カロリー食品の自社開発を本格的に開始した。今年3月に、主力生協ルートや百貨店ルートなどでテスト販売した「ローカロぞうすい」で確かな手ごたえを得たため、B to C通販への本格参入を決めた。現在、他社への商品同梱で専用チラシを配布しているが、反響が高いことから、今後雑誌出稿やテレビ通販など、マス媒体での通販展開を検討する。B to C通販事業単独で、初年度1億円、5年後には約10億円の売上を見込む。(8月25日 通販新聞)

## **GENERAL NEWS**

### **国民医療費過去最高の31兆5375億円**

厚生労働省は23日、03年度の国民医療費が02年度比1.9%増の31兆5375億円で過去最高を更新し、国民所得に占める割合も最高だった02年度と同じ8.55%に達したと発表した。65歳以上の医療費は15兆8823億円と全体の50.4%を占め、これも過去最高となった。国民1人当たりの医療費は02年度比1.8%増の24万7100円。65歳以上は65万3300円で、65歳未満(15万1500円)の4.3倍に達した。(8月23日 毎日新聞)